



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 村上開明堂

コード番号 7292 URL <http://www.murakami-kaimeido.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長 (氏名) 長谷川 猛

TEL 054-253-1811

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	38,600	△10.8	3,059	△37.7	3,384	△34.5	1,764	△43.0
23年3月期第3四半期	43,281	14.1	4,910	109.5	5,170	102.9	3,095	212.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,272百万円 (△57.6%) 23年3月期第3四半期 2,998百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	136.36	—
23年3月期第3四半期	239.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	44,920	28,182	60.5
23年3月期	44,902	27,186	58.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 27,198百万円 23年3月期 26,264百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,700	△1.1	4,250	△21.6	4,700	△16.8	2,550	△24.7	197.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	13,100,000 株	23年3月期	13,100,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	158,208 株	23年3月期	157,251 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	12,942,136 株	23年3月期3Q	12,949,204 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続き対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響による経済活動の停滞から緩やかな回復基調にあるものの、歴史的な円高水準の進行による輸出産業の採算悪化など、依然として先行き不透明のまま推移いたしました。一方、世界経済では、欧州での債務問題による金融不安の拡大や中国経済の減速懸念はあるものの、全体では新興国全体の内需拡大に牽引され緩やかな成長となりました。

主要取引先であります自動車業界においては、国内では震災後のサプライチェーンの復旧が進み、回復傾向にありますが、震災発生後の生産停止が影響しているため生産台数は大きく減少いたしました。海外では10月にタイ国で発生した洪水の影響があるものの、新興国での堅調な生産拡大により、世界の生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、38,600百万円（前年同期比10.8%減）と自動車用バックミラーを主力製品とするミラーシステム事業の震災の影響による自動車の生産台数減少に伴い減収となりました。利益につきましても、自動車生産台数の減少に伴う減収が大きく影響した結果、営業利益は3,059百万円（前年同期比37.7%減）、経常利益は3,384百万円（前年同期比34.5%減）、四半期純利益1,764百万円（前年同期比43.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### ①日本

東日本大震災の影響による自動車生産台数の減少や円高の継続等により、売上高は26,678百万円（前年同期比14.9%減）となり、営業利益は1,986百万円（前年同期比40.9%減）となりました。

#### ②アジア

東日本大震災の影響等による客先生産台数の減少により、売上高は8,923百万円（前年同期比1.6%減）となり、営業利益は1,212百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

#### ③北米

売上高は2,998百万円（前年同期比4.1%増）となりましたが、利益面につきましては、円高の継続による仕入コストの高騰等により、営業損失114百万円（前年同期は営業利益90百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、44,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が3,302百万円減少、受取手形及び売掛金が973百万円、建物及び構築物が2,608百万円増加したことなどによるものです。

負債の残高は、16,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ977百万円減少いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が536百万円増加、短期借入金が727百万円、未払法人税等が691百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は、28,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ996百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が1,531百万円増加、その他有価証券評価差額金が297百万円、為替換算調整勘定が300百万円減少したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、タイ国における洪水被害の影響はありますが、平成23年8月24日に公表した業績予想の変更はありません。

業績の予想につきましては、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。修正を行なう必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。  
なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,652,964	8,350,162
受取手形及び売掛金	7,775,370	8,748,604
商品及び製品	886,847	814,581
仕掛品	584,378	626,681
未成工事支出金	308,815	196,101
原材料及び貯蔵品	1,396,170	1,475,491
繰延税金資産	893,895	892,267
その他	290,764	740,040
貸倒引当金	△19,582	△15,481
流動資産合計	23,769,623	21,828,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,544,978	10,894,924
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,934,010	△4,675,894
建物及び構築物（純額）	3,610,967	6,219,029
機械装置及び運搬具	17,566,384	17,547,051
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,492,081	△13,842,720
機械装置及び運搬具（純額）	4,074,303	3,704,330
工具、器具及び備品	14,263,056	14,484,662
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,496,094	△13,830,053
工具、器具及び備品（純額）	766,962	654,608
土地	5,360,053	5,364,181
リース資産	389,084	351,166
減価償却累計額及び減損損失累計額	△266,017	△259,610
リース資産（純額）	123,066	91,556
建設仮勘定	1,616,754	1,887,858
有形固定資産合計	15,552,107	17,921,565
無形固定資産		
投資その他の資産	505,516	466,311
投資有価証券	2,386,092	1,815,704
投資不動産	2,502,424	2,049,686
減価償却累計額及び減損損失累計額	△880,015	△435,059
投資不動産（純額）	1,622,409	1,614,627
繰延税金資産	439,476	650,709
その他	689,982	686,556
貸倒引当金	△63,064	△63,236
投資その他の資産合計	5,074,896	4,704,361
固定資産合計	21,132,520	23,092,238
資産合計	44,902,143	44,920,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,643,027	7,179,922
短期借入金	2,866,829	2,139,223
未払法人税等	1,034,391	343,050
製品保証引当金	852,271	770,976
賞与引当金	751,301	511,715
役員賞与引当金	25,600	8,351
資産除去債務	4,968	—
その他	2,723,612	3,136,258
流動負債合計	14,902,001	14,089,497
固定負債		
長期借入金	221,205	197,544
退職給付引当金	1,328,123	1,365,684
役員退職慰労引当金	957,369	838,781
資産除去債務	60,899	60,899
その他	246,519	185,732
固定負債合計	2,814,117	2,648,641
負債合計	17,716,118	16,738,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,165,445	3,165,445
資本剰余金	3,528,191	3,528,191
利益剰余金	19,802,829	21,334,656
自己株式	△126,947	△127,868
株主資本合計	26,369,518	27,900,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	860,484	563,274
為替換算調整勘定	△965,083	△1,265,186
その他の包括利益累計額合計	△104,598	△701,912
少数株主持分	921,104	984,038
純資産合計	27,186,024	28,182,550
負債純資産合計	44,902,143	44,920,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	43,281,764	38,600,495
売上原価	34,664,502	32,257,581
売上総利益	8,617,261	6,342,913
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	888,602	587,876
貸倒引当金繰入額	4,342	—
役員報酬	217,316	205,065
従業員給料	1,007,890	1,049,087
賞与引当金繰入額	112,637	112,640
役員賞与引当金繰入額	13,448	26,351
退職給付費用	139,538	62,794
役員退職慰労引当金繰入額	46,952	42,321
福利厚生費	208,038	229,635
旅費交通費及び通信費	148,225	153,662
減価償却費	102,857	108,079
その他	817,032	705,677
販売費及び一般管理費合計	3,706,882	3,283,192
営業利益	4,910,379	3,059,721
営業外収益		
受取利息	9,467	8,746
受取配当金	33,586	36,373
受取地代家賃	72,803	74,315
受取ロイヤリティー	34,694	38,745
開発業務受託料	47,266	92,455
その他	116,876	145,376
営業外収益合計	314,694	396,012
営業外費用		
支払利息	27,211	18,386
貸貸費用	21,658	24,497
為替差損	1,446	12,274
持分法による投資損失	779	—
その他	3,975	16,389
営業外費用合計	55,072	71,548
経常利益	5,170,001	3,384,186
特別利益		
固定資産売却益	27,500	2,636
賞与引当金戻入額	9,920	—
製品保証引当金戻入額	3,744	—
関係会社整理損失引当金戻入額	21,588	—
負ののれん発生益	273,290	5,205
特別利益合計	336,044	7,841



(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
特別損失		
固定資産処分損	18,651	61,384
減損損失	142,722	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	65,868	—
特別損失合計	227,241	61,384
税金等調整前四半期純利益	5,278,804	3,330,643
法人税等	1,873,132	1,384,221
少数株主損益調整前四半期純利益	3,405,672	1,946,422
少数株主利益	310,159	181,631
四半期純利益	3,095,512	1,764,791

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,405,672	1,946,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136,687	△297,209
為替換算調整勘定	△270,531	△371,907
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△4,729
その他の包括利益合計	△407,219	△673,847
四半期包括利益	2,998,452	1,272,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,688,589	1,167,477
少数株主に係る四半期包括利益	309,863	105,097

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,336,548	9,064,484	2,880,731	43,281,764	—	43,281,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,053,490	601,660	2,058	2,657,208	—	2,657,208
計	33,390,038	9,666,145	2,882,789	45,938,973	—	45,938,973
セグメント利益	3,361,180	1,483,889	90,735	4,935,805	—	4,935,805

(注) 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：タイ、中国

北米：米国

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,935,805
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	234,495
全社費用（注）	△259,921
四半期連結損益計算書の営業利益	4,910,379

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社の流通センター事業所について、利用方法を見直し、建物及び構築物を除却することとしたため、「全社」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては65,952千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「アジア」セグメントにおいて、当社子会社である嘉興村上石崎汽车配件有限公司の出資金を追加取得した事により、負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては273,290千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,678,631	8,923,054	2,998,808	38,600,495	—	38,600,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,209,946	393,761	1,530	2,605,239	—	2,605,239
計	28,888,578	9,316,816	3,000,339	41,205,734	—	41,205,734
セグメント利益又は損失（△）	1,986,538	1,212,209	△114,060	3,084,687	—	3,084,687

(注) 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：タイ、中国

北米：米国

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,084,687
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	268,971
全社費用（注）	△293,937
四半期連結損益計算書の営業利益	3,059,721

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社のタイ国アユタヤ県ロジャナ工業団地にある連結子会社のMurakami Manufacturing (Thailand) Co., Ltd. は、豪雨による洪水で、敷地及び建物において浸水被害を受け、平成23年10月10日から操業を停止していましたが、平成24年1月12日より操業を再開しております。

なお、被害総額については現在調査中ではありますが、現段階で把握しております損害額は以下の通りとなります。

損害額：被災した固定資産の損失見込額は281,724千円であります。なお、当該資産については保険が付保されております。

復旧の見通し：平成24年1月12日よりMurakami Manufacturing (Thailand) Co., Ltd. 構内にて操業を再開しております。